

ゆうかんさん 勤務の合間に指導

今月二十一日に愛知県武道館で行われた皇后杯全日本女子柔道選手権大会で、ドーピング検査の責任者を務めた名古屋大医学部附属病院長の二村雄次さん(58)。同大柔道部長も務め、勤務の合間を縫って週一日、後輩を指導している。

高校入学と同時に柔道を始め、名古屋大医学部に進学後も柔道部に所属。卒業後、コーチとして部に残り、医学の勉強と両立してきた。七年前からこの大会の検査にかかわり、選手の尿が出なくて困ったというエピソードも。「学生の柔道離れ」が最近の悩みの種という。